

「愛媛県パス実務者の集い」を開催して

国立病院機構四国がんセンター

羽藤慎二

愛媛クリニカルパス研究会

愛媛クリニカルパス研究会

HOME

研究会

講演会その他

世話人会

会則

愛媛クリニカルパス研究会 会則

第1条(名称)

本会は愛媛クリニカルパス研究会と称する。

第2条(目的)

本会はクリニカルパスを使用した医療、つまりEBMを取り入れた医療の標準化、チーム医療、患者様中心の医療の実施を普及、啓発を目的とするものである。

愛媛クリニカルパス研究会

[第7回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 21年 7月 11日 (土) ※終了

テーマ：これからのクリニカルパスを考える

[第6回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 20年 7月 12日 (土) ※終了

テーマ：どうして院内でクリニカルパスが拡がらないのか

[第5回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 19年 7月 7日 (日) ※終了

テーマ：クリニカルパスの効果的な運用

[第4回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 18年 7月 1日 (土) ※終了

テーマ：地域に広げようクリニカルパスの輪

[第3回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 17年 6月 25日 (土) ※終了

テーマ：当院のクリニカルパスはここまで進んだ ～工夫したこと、これからの問題点～

[第2回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 16年 7月 24日 (土) ※終了

テーマ：愛媛県内の入院施設を持つ医療機関におけるクリニカルパスの普及と整備

[第1回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 15年 12月 6日 (土) ※終了

テーマ：愛媛県内の入院施設を持つ医療機関におけるクリニカルパスの普及と整備

[第14回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 29年 8月 26日 (土) ※終了

テーマ：クリニカルパスの有効活用を目指して

[第13回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 28年 8月 6日 (土) ※終了

テーマ：バスを未来につなげよう!! -バスの振り返りから見えるもの-

[第12回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 27年 8月 29日 (土) ※終了

テーマ：切れ目のない医療提供を目指して -地域連携バスの活用-

[第11回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 26年 8月 30日 (土) ※終了

テーマ：多職種チーム医療とクリニカルパス

[第10回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 25年 8月 3日 (土) ※終了

テーマ：クリニカルパスの電子化 -その問題点と工夫-

[第9回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 24年 8月 11日 (土) ※終了

テーマ：クリニカルパスの課題

[第8回 愛媛クリニカルパス研究会](#) 平成 22年 7月 17日 (土) ※終了

テーマ：愛媛県のクリニカルパスの現状

背景

- 愛媛クリニカルパス研究会は、愛媛県におけるクリニカルパス（パス）を用いた医療の普及啓発を目的とし、年1回程度の研究発表が、平成15年より開催され、県内パス活動において一定の効果が得られている。

背景

- しかしながら、各施設における日々のパス業務に関しては、解決すべき課題が未だ残存し、発表形式のみの集まりのみでは、その解決が難しいという声が上がっていた。

新たな試み

- 実際に、各施設においてパスの最前線で業務を行っている実務者が集まって、話し合いができる場を設けてはどうか。
 - 平成29年8月：愛媛クリニカルパス研究会の世話人会で提案し、了承された。
-

今回の発表内容

- 平成30年2月と6月に計2回
 - 「愛媛県バス実務者の集い」を開催した。
 - 活動内容について報告する。
-

参加施設

- 愛媛医療センター
 - 愛媛県立中央病院
 - 愛媛県立新居浜病院
 - 西条中央病院
 - 済生会松山病院
 - 十全総合病院
 - 住友別子病院
 - 松山市民病院
 - 松山赤十字病院
 - 四国がんセンター
-

第1回

日時：平成30年2月9日 19：00～

場所：四国がんセンター 新棟3階研修室①

進行：四国がんセンター（当番）

【本集いの目的】

- ◆ 愛媛県のパス実務者が困っていることや問題点を情報共有し、問題解決につなげる。
 - ◆ 各施設の取り組みや活動内容を共有し、愛媛県のパスの質向上につなげる。
- 位置づけとしては、「有志の集まり」

第1回

- グループディスカッション形式で討論

I. 実務者が抱えている問題は？

解決すべき問題点の優先順位は？

II. 各施設の取り組みや活動を共有するためには？

実務者が抱えている問題は？

解決すべき問題点の優先順位は？

1.人材不足、時間的問題

- 1) 時間が足りない、勤務時間内にパスの業務ができない
- 2) 医師が非協力的
- 3) 人事異動などで、人が交代し、継続的な取り組みが難しい。
- 4) 職種ごとの関わり方がわからない
- 5) 一部の人間のみがパスに関わる仕事をしている、パスに関わっていないスタッフはパスに興味が無い。そのため、パス実務者の努力が認められず、モチベーションが下がる。

実務者が抱えている問題は？ 解決すべき問題点の優先順位は？

2. データ集計面での問題

- 1) データ未入力が多い。しかし、パス実務者が呼びかけ等を行うだけでは強制力は無く、問題の解決に至らない。
- 2) データを抽出する作業の一つ一つが手作業のため、とても手間で大変。また、抽出したデータの整理をするのも大変。
- 3) 分析結果をどう活用したらいいかわからない。

3. パスの運用等

- 1) マニュアルが無い、作成基準などが統一できていない。
- 2) 紙カルテなので電子パスを使えていない。

実務者が抱えている問題は？

解決すべき問題点の優先順位は？

1. 各スタッフの、パスへの関わり方についての問題
 2. データに関する問題（入力、抽出、活用方法）
 3. パスに携わる人間のモチベーションを維持させる方法
 4. 人材、時間的問題
 5. コスト、システムの問題、電子化するための取り組み
-

各施設の取り組みや活動を共有するためには？

- 1) 他施設の間人も参加できる公開型パス大会等のイベント
 - 2) 病院間で施設見学
 - 3) メーリングリストを作成、情報共有ツールとして活用
 - 4) 集いの場を利用して、パス紹介したり意見交換会を行う
-

第2回

日時：平成30年6月15日 19：00～

場所：四国がんセンター 新棟3階研修室①

進行：四国がんセンター（当番）

I. パス紹介

四国がんセンター緩和ケア看護ケアパスの紹介

II. 各スタッフのパスへの関わり方について

特に、医師のパスへのかかわりの現状について

各施設における医師のパスへのかかわりについて

1) パスのチェックを依頼しているが返事が無く、何ヶ月も未承認のままである。

→使わないと困る状況で無ければ、作成・改訂には非協力的かもしれない。

2) 医師によって治療（指示）方針が異なるためパス活動が難しい。

→医師によって診療が異なるのは問題なのでは・・・？

各施設における医師のパスへのかかわりについて

3) 医師の委員会への参加率は全ての施設において低い、また、参加しない施設もある。

→医師が参加できるように、医師の時間に合わせて委員会時間を調整する必要があるか？（そのように運営している施設もあり）

4) パス審査に医師が参加している施設と、参加していない施設がある。

→医師がいないと治療のことが分からず看護師では不十分。

各施設における医師のパスへのかかわりについて

- 医師がパスに関わるには？
 - まずは病棟カンファレンスなどを通し、医師となんでも相談しやすい関係作りを構築すると、パスのことも相談しやすくなる。日々のコミュニケーションが重要。
 - 院内に一人は、信頼できる医師を見つける（どの施設も困ったときに頼れる医師が1人はいる）
 - パスは看護師がメインで活動するものという意識があるのである程度の強制力が無いと、医師がパス活動に参加してくれない。管理者レベルのリーダーシップが必要。

結語

- 第1,2回の愛媛県パス実務者の集いについて報告した。
- 同じような問題を抱える実務者が集うことによって、成功事例を参考にできたり、また、悩みを共有することによってモチベーションを維持できる意義はあると考えている。
- 今後、各施設が協力して、パス実務者の抱える問題の解決と、県内パスレベルの向上に、貢献できる活動になればと期待している。